

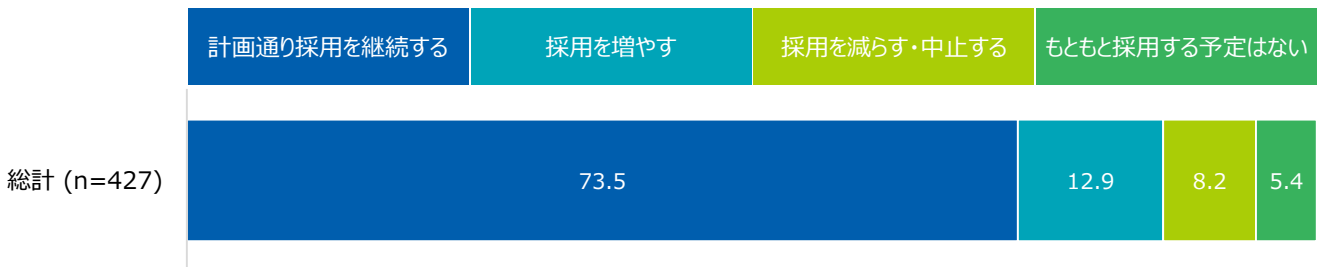
ジョブズコミュニティレポート 2022年2月号

感染拡大でも「計画通り採用を継続する」が73.5%
—緊急事態宣言解除後のアルバイト採用「ほとんどまたは全く採用できなかった」が47.5%—
Q1 アルバイト・パート人材について、2021年10～12月中の採用成果をどう感じていますか？

(%)


Q2 2021年末からの新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大を受けて、足元の採用計画に変化はありますか？

(%)



2021年9月に新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が解除され、人材需要が高まる傾向が続いていました（「[ジョブズコミュニティレポート 2021年12月号](#)」参照）。しかし、年末からオミクロン株による感染が拡大し、1月9日以降、まん延防止等重点措置が複数の自治体で発出され、時短営業の要請などの対策が講じられています。この状況下での採用状況と計画への影響を、企業の経営者・採用担当の方に伺いました。（回答期間：2022年1月14日～20日）

2021年10～12月のアルバイト・パート採用の成果は、「ほとんどまたは全く採用できなかった」が47.5%と約半分を占め、特に医療・福祉関連業66.1%では採用が難しかったとみられます。「一定数の採用はできたが、不足感がある」と合わせると、医療・福祉関連業、飲食業、サービス業で80%を超えており、これらの業種では予定通りの採用ができなかった企業が比較的多かったようです。

2022年1月の感染拡大を受けた採用計画は、「計画通り採用を継続する」73.5%が最も多い結果になりました。また、「採用を減らす・中止する」8.2%、「もともと採用する予定はない」5.4%を除く85%以上の企業が採用数を減らさない計画となっています。特に医療・福祉関連業は93.3%で、引き続き人材需要が高いことがわかります。

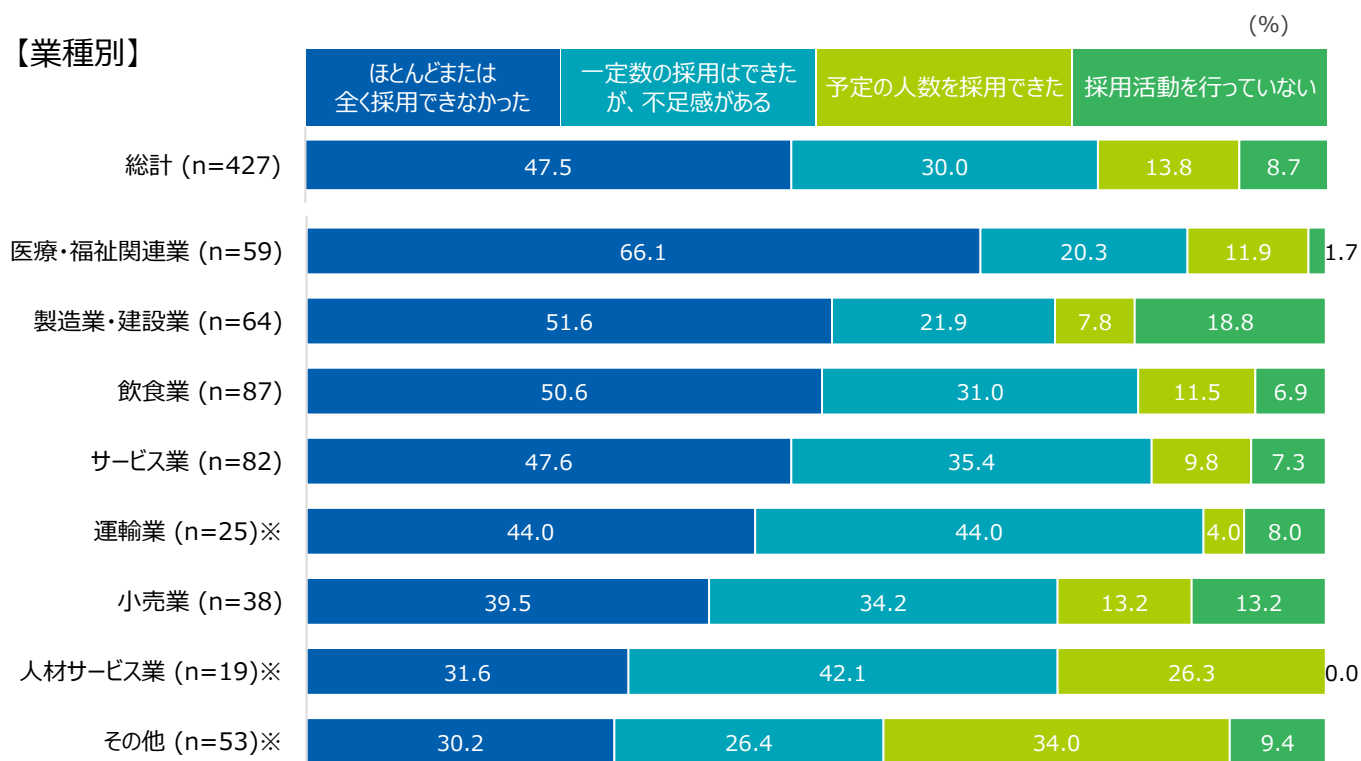
医療・福祉関連業、製造業・建設業、飲食業では「採用を増やす」が15%を超えました。一方で、飲食業は「採用を減らす・中止する」も10%を超えており、感染拡大による先行きの不透明感から採用計画が二極化する傾向がみとれます。

- アンケート実施期間：
2022年1月14日～1月20日
- 有効回答数：427人
- 対象：弊社メールマガジン会員

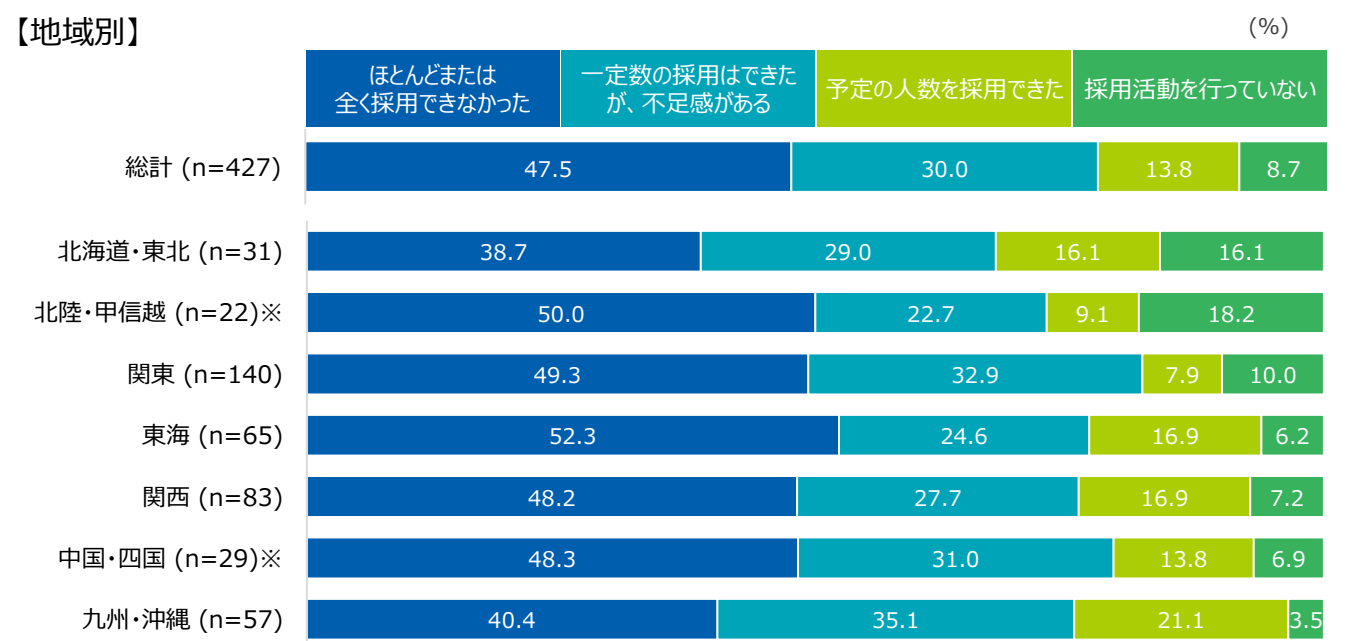
- 本レポートに関するお問い合わせ先
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちらから
リクルート 求人広告ネット 人材インフォ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

Q1 アルバイト・パート人材について、2021年10～12月中の採用成果をどう感じていますか？

医療・福祉関連業、飲食業、サービス業で予定通りの採用ができなかった企業が80%超



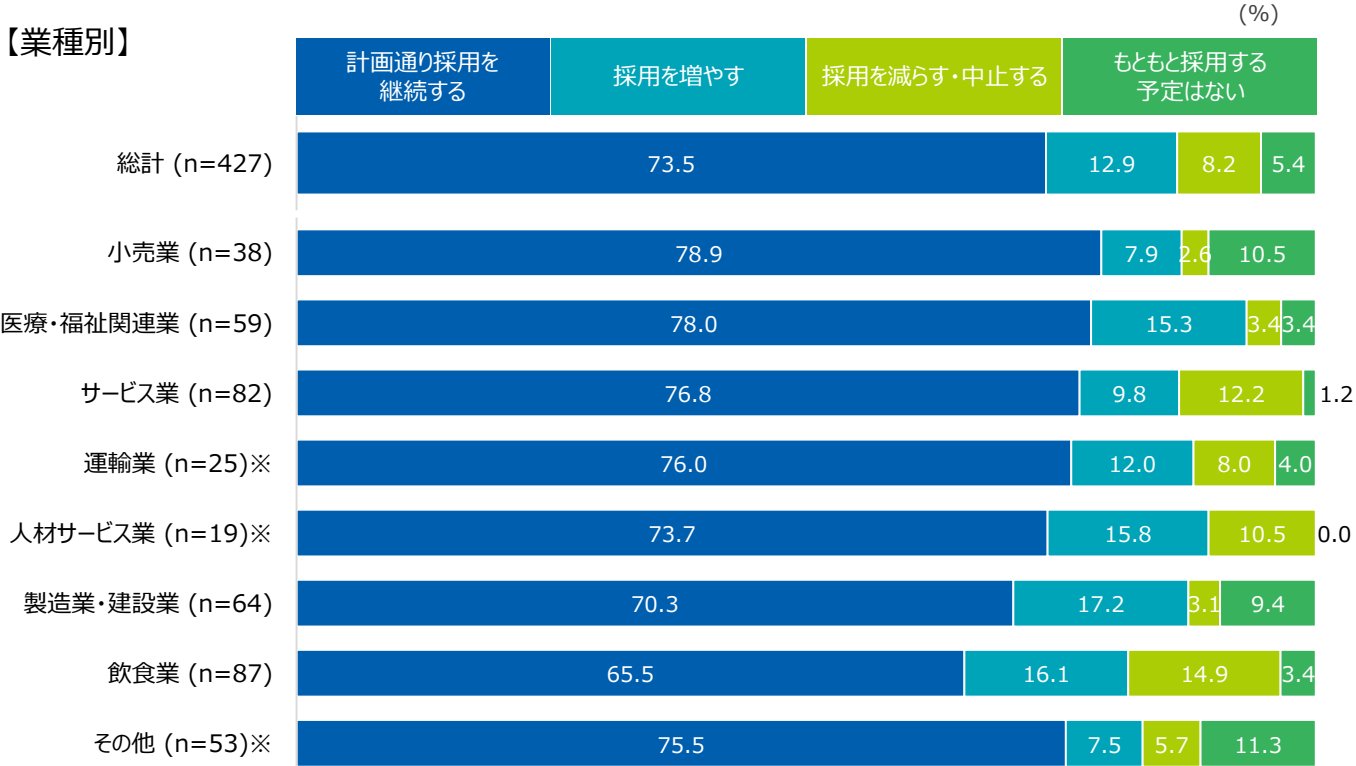
※回答数が30未満の項目は参考値として掲載する
 ※「その他」は、情報通信業、金融・保険・不動産業、その他の合計



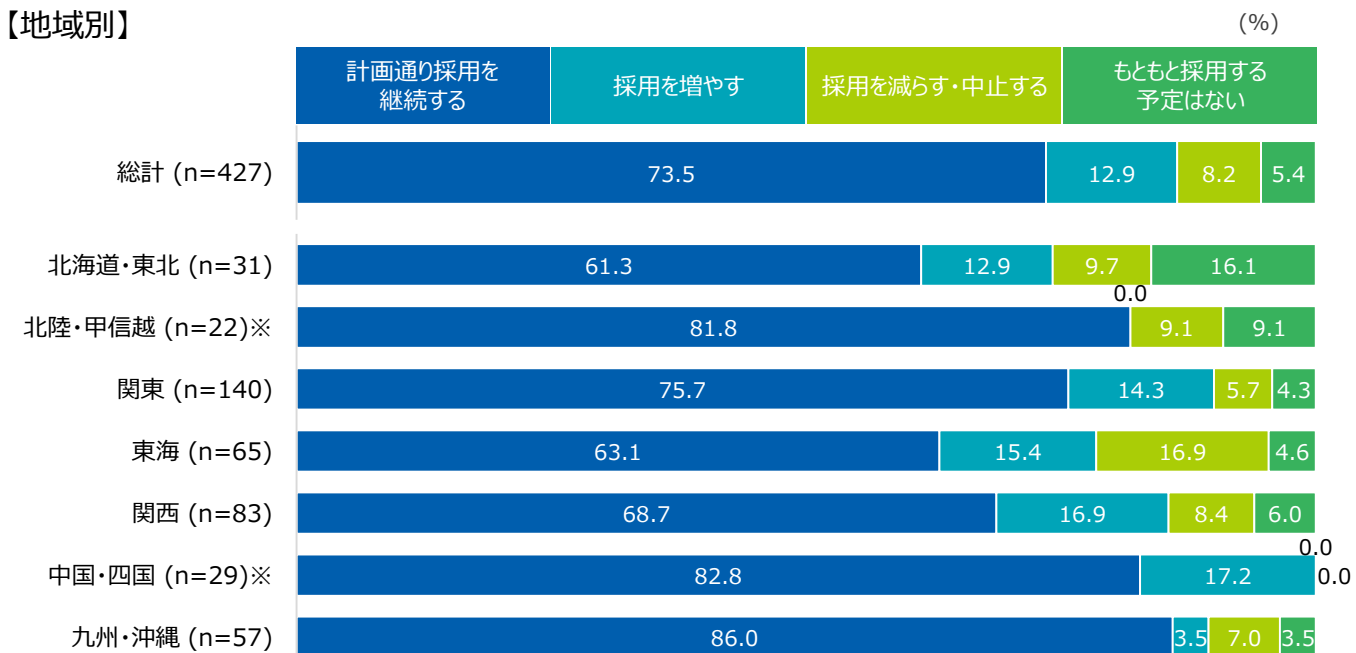
※回答数が30未満の項目は参考値として掲載する

Q2 2021年末からの新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大を受けて、足元の採用計画に変化はありますか？

「計画通り採用を継続する」企業が73.5%で最も多い
医療・福祉関連業、製造業・建設業、飲食業では「採用を増やす」が15%超



※回答数が30未満の項目は参考値として掲載する
※「その他」は、情報通信業、金融・保険・不動産業、その他の合計



※回答数が30未満の項目は参考値として掲載する